

## 寄附者様からのメッセージ

母校島根大学の発展のため、ご尽力いただいていること感謝申し上げます。些少なから寄附します。後輩の育成にお役立て下さい。(卒業生)

フォーラム参加者です。島大卒業生ではありませんが、松江出身者として貴学の発展を心から期待するものです。(一般)

子どもが大変お世話になり有難うございました。(保護者)

国際交流の発展のために寄附いたします。(教職員)

島根大学の益々の発展をお祈りいたします。(元教職員)

## 基金の状況について

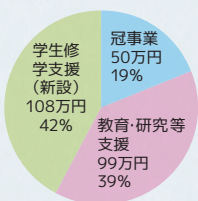
### 基金受入状況

寄附総件数 4,693件 寄附金総額 105,869,128円  
(平成29年3月31日現在)

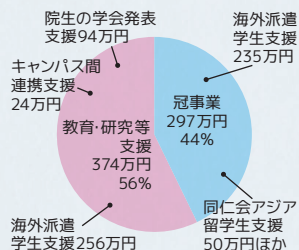
### 平成28年度基金 決算概要

#### 収入 (257万円)

※前年度繰越額913万円



#### 支出 (671万円)



### 平成28年度支出内訳

事業名	事業内訳	支援人数	金額
教育・研究等支援事業 (374万円)	海外派遣学生支援 (旅費等支援の奨学金)	134名 (冠事業と合算)	256万円
	院生の学会発表支援 (旅費等支援の奨学金)	24名	94万円
	キャンパス間連携支援 (松江、出雲間の旅費等支援の奨学金)	6名	24万円
冠事業 (297万円)	海外派遣学生支援 (旅費等支援の奨学金)	134名 (教育・研究等支援事業と合算)	235万円
	同仁会アジア留学生支援 (旅費等支援の奨学金)	2名	50万円
	教学IR室の運営支援 (システムライセンス料)	-	12万円

## 基金について

島根大学支援基金は、島根大学憲章の実現のため、以下の事業に助成します。

### 経済的理由により修学が困難な学生に対する支援

- ・ 入学料及び寄宿料の減免
- ・ 奨学金の給付
- ・ 海外留学に係る渡航費用の一部補助

### 大学の教育・研究活動等に対する支援

- ・ 国際交流(学生の海外留学に係る渡航費用の一部補助、国際交流事業推進等)
- ・ 大学院学生に対する学会発表等に関する奨学金支給
- ・ 学生が行う地域貢献活動
- ・ その他基金の目的達成に必要な支援

### 附属学校園の教育活動等に対する支援

- ・ 総合学習教育の活動支援
- ・ 教育環境整備等のための支援
- ・ その他基金の目的達成に必要な支援

### 冠寄附

50万円以上のご寄附については、冠寄附として「冠附金名称」及び「使用目的」をつけることができます。

本基金における事業を末永く実施していくためには、皆様からの継続的なご支援が不可欠です。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### お問い合わせ先

島根大学総務部総務課 支援基金担当  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

☎ 0852-32-6015

✉ sienkk@office.shimane-u.ac.jp

🌐 [http://www.shimane-u.ac.jp/fund/fund\\_recruit/](http://www.shimane-u.ac.jp/fund/fund_recruit/)

THANKS!  
島根大学  
支援基金だより

学長メッセージ

支援学生の声

寄附者様からのメッセージ

基金の状況について

基金について



## 学長メッセージ



島根大学では、学生に対する修学や地域と協同した事業を支援する目的で、平成18年度に島根大学支援基金を設立しました。それ以後、多くの皆様より温かいご支援をいただき、学生の海外派遣、学会発表に対する奨学金の給付や地域自治体との共催による「古代出雲文化フォーラム」等の事業を実施し、未来を切り開く学生の育成及び、地域と一体となった地域貢献活動を推進しているところです。

本基金のご支援による活動の状況につきましては、これまで大学ホームページ等において皆様にお伝えして参りましたが、この度、支援基金に関する情報を幅広く正確に発信するため、「島根大学支援基金だより」を新たに発刊することとしました。「島根大学支援基金だより」では、基金における事業の紹介や実施状況、寄附者様からのメッセージ、そして、学生からの感謝の声等を皆様にお伝えしてまいります。

運営費交付金の10年以上にわたる削減等、国立大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、本学の使命を果たしていくためには、皆様からの継続的なご支援が必要です。

なにとぞ、本基金の支援による活動をご理解いただき、引き続き本基金を通じた島根大学への格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

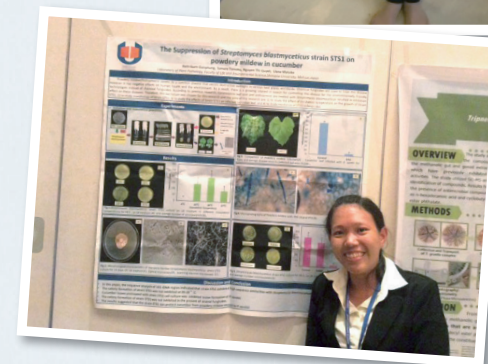
島根大学長 服部泰直

## 支援学生の声

私は2年後期の2月から3月にかけて、アメリカ・ミシガン州での春期海外研修に、さらに3年前期の8月から9月にかけて、アメリカ・ヴァージニア州での夏期海外研修に参加しました。

この2回の研修に参加できたのは、皆さんの温かいご支援があったからです。「海外」という自分が今まで知らなかった世界で自分自身と向き合い、現地の良さはもちろん、日本の良さも再発見することができました。そして、もっと世界を知りたくなりました。

これらの研修で得られた「つながり」を大切にしながら、今後の学生生活を有意義なものにしていきます。本当にありがとうございました。



総合理工学部 4年 出水隆太

### 生物資源科学研究科 2年 RATTRIKORN GANPHUNG (タイ)

私は、私費外国人留学生で、経済的な余裕がない状態でした。しかし、島根大学では、大学院生が学会で発表するサポートをしていただけるので、自分の成果を海外で発表することができました。また、発表ではベストポスター賞を受賞することができ、大学からは学生表彰をしていただきました。これをきっかけに奨学金を貰うことができ、今は研究に集中することができています。とても感謝しています。ありがとうございました。これからもっと勉強して、タイと日本の架け橋になれるようにがんばりたいです。

